

TEAM SPOT JUMBLE 戦後 80 年企画

ホ
シ
ミ
グ
サ

演劇

星見草

2025年6月21日(土)・22日(日)
那覇文化芸術劇場なは一と 小劇場

沖縄戦の語り部として活動した元白梅学徒隊の中山きくさんが伝え続けたのは、

『思っているだけでは平和はこない、行動するのよ』ということでした。

戦後80年、演劇を通して「戦争と平和」に向き合い、TEAM SPOT JUMBLEが新作を発表します。

出演 津波信一 (TEAM SPOT JUMBLE)
ナツコ (TEAM SPOT JUMBLE)
真栄城美鈴 (フリー)
大嶺佳奈 (劇団ビーチロック)

脚本 安和学治 (劇艶おとな団)
演出 島袋寛之 (TEAM SPOT JUMBLE)
音楽 古謝麻耶子

公演詳細は4月上旬頃に公開します。
<https://www.nahart.jp/stage/2025hoshimigusa/>
または、QRコードよりご確認ください。



今年、戦後80年を迎える日本、そして沖縄。その間も世界では戦争が繰り返され、平和とはほど遠いニュースが毎日のように目に飛び込んでくる。

今回の舞台の主軸となる中山きくは僕の伯母にあたる。生前伯母は、戦争体験を身内にはあまり語らなかつたし、平和ボケした甥っ子は怖い話には片耳を塞いでいる節があった。それが劇的に変化したのは、今から10年前、NHK沖縄の「きんくる」という番組で伯母の終戦間際の足跡と一緒に歩いた事が大きい。

伯母が体験した八重瀬の手術壕、逃げまどつたであろう畑道、多くの友人を失つた糸満の地、自害を決意した山道で理路整然と語る話はあまりに衝撃的で、これまでの自分を恥じるにはじゅうぶんすぎた。

伯母の言葉で忘れられないのは、何年経とうが、命を落とした友人やその遺族に対して「生き残ってしまい申し訳ないという思い」という言葉である。凄く切なくて苦しくて涙が出そうになった。なぜなら、伯母が生き残ってくれたから、戦後、体の弱かつた僕の父も存在したわけだし、僕も生を受けているのだから・・・。

今回の舞台で、「伯母の思いを伝える」なんてことはできないし、不可能だと思う。だけど、生前よく口にしてた「思っているだけで平和は来ない 行動するのよ」と言う言葉を胸に、進んでいこうと思う。

厳しくも優しくかつた伯母、そして学友の皆さんが天国から微笑んでくれたら・・・嬉しい限りである。

TEAM SPOT JUMBLE 主宰・俳優 津波信一

主催 (株)TEAM SPOT JUMBLE、(同)シマシマ企画、那覇市
協力 若梅会 ※本事業は令和7年2月那覇市議会において予算が可決することを前提としています。

お問合せ

「星見草」公演事務局 (シマシマ企画 島袋)
TEL :090-9688-1221 平日10時~17時
Mail :shimashima.plan@gmail.com